

# 工事担任者の技術向上をフォローする認定資格 「情報通信エンジニア資格」

## 情報通信エンジニア資格とは

情報通信エンジニア資格は、工事担任者のスキルと地位の向上を目的として、平成17年12月に設立された認定資格です。情報通信エンジニア資格には、大規模工事等に従事する「ビジネス」と、一般家庭を中心とした工事に従事する「ホーム」の2種類があります。



### 〈情報通信エンジニア誕生の背景と趣旨〉

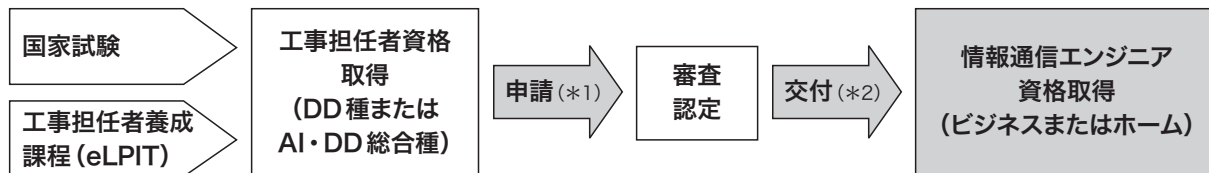
急速に発展している情報通信分野における技術者である工事担任者には、常に新しい知識及び技術の修得が求められています。実際、工事担任者規則において、「工事担任者は、端末設備等の接続に関する知識及び技術の向上を図るように努めなければならない」という努力義務規定が定められています。

これを受けて、努力義務を果たしている工事担任者であることを証明できるように、工事担任者スキルアップガイドライン委員会の審議結果に基づいて認定される資格「情報通信エンジニア」が創設されました。

## 情報通信エンジニア資格の取得方法

DD種またはAI・DD総合種の資格者が対象となります。DD種またはAI・DD総合種の資格試験に合格した方が、合格直後に申請すると、書類審査を経て情報通信エンジニア資格を取得できます。また、工事担任者資格者証が交付されてから10ヶ月以上経過した方は、認定研修（更新研修と内容は同じです）を受講することにより、資格取得が可能です。

詳しくは情報通信エンジニアのホームページ (<http://www.dekyo.or.jp/engineer/>) をご覧ください。



(\*1) 「情報通信エンジニア資格者証交付申請書」に資格者証の写しを添付の上、財団法人日本データ通信協会へ申請。

(\*2) 登録証及び資格者証カードの発行。

情報通信エンジニア資格は、年1回、財団法人日本データ通信協会から送付される更新研修テキストを学習し、レポートを提出する等、所定の手続きを実施することにより更新されます。

更新研修費用：ビジネス 6,000円（ただし、学生の方に限り4,000円）  
ホーム 4,000円

### 申請書の送付先

〒170-8585 東京都豊島区巣鴨2-11-1 巣鴨室町ビル6階  
財団法人 日本データ通信協会 情報通信人材育成本部情報通信エンジニア事務局  
問合せ先 電話番号：03-5907-5955

## 情報通信エンジニア資格取得のメリット

- ①最新の技術・知識を修得している工事担任者であることを証明できます。
- ②毎年、工事担任者スキルアップガイドライン委員会で審議・精選された更新研修テキストにより、最新の技術・知識を体系的に修得できます。
- ③「情報通信エンジニア新技術セミナー」に無料で参加できます。
- ④業務等で多忙な方も、自宅で情報通信分野の最新動向や新技術の研修ができます。
  - 「情報通信エンジニア新技術セミナー」をWeb配信により聴講できます。
  - 情報通信エンジニア専用ホームページで、体系化された技術情報を閲覧できます。
  - 最新の技術動向等に関するセミナーの案内や新技術情報等が、定期的にメール配信されます。